



開拓

編集発行
 安八郡輪之内中学校
 PTA 会報委員会
 題字 江崎勝則
 印刷 (株)ダイキュー



響かせた最高のハーモニー
 生徒会長 片野 由貴
 今年の音楽祭は、どのクラスも一人一人の声が集まり、最高のハーモニーを響かせることができたと思います。取り組みでも、日常生活から呼びかけの声などが響きわたり、良い結果を残すことができました。

この音楽祭は、輪中生全員の思いが詰まった最高の音楽祭になったと思います。そして、改めて、輪中の合唱はすごいと感じました。これからさらに合唱を高め、伝統として残していきたいです。



音楽祭

SOUNDS

響かせた最高のハーモニー

学年合唱

- 1年生 With You Smile
- 2年生 時の旅人
- 3年生 大地讃頌



学級が一つに
 歌声委員長 越智 海滯
 今年の音楽祭では、学級や学年が成長できたと思います。それは一人一人がみんなの思いを考え頑張ることができたからです。みんなのためとは言ってもなかなかうまくいかず大変なときもあったと思うけど、どの学級もそれをのりこえて最高の合唱を披露できました。学級が一つになり成長できたことは大きな成果だと思います。今の学級や学年だからこその合唱を見ることができて本当によかったです。



輪之内中学校

祭

9/16

情熱の花 よう 自信の果実



当日は、競技も良い結果を残すことができ、応援も最高のものでした。青団の優勝は全員で勝ち取った優勝でした。体育祭で得た団結力を次の行事でも生かしていきたいです。

私たちが応援リーダーは夏休みから集まり、応援の歌詞、振り付け、構成を考え、二期が始まったらスムーズに教えることができるように練習してきました。しかし、実際にやってみるとなかなか思っていたように進まず、このままで大丈夫かと不安になりました。でも、団員のみんなの頑張りや先生方がサポートしてくださったことで応援を完成させることができました。

今回の体育祭は3年生の私たちにっては最後の体育祭でした。

吉田 早織

青団長



僕は団長として白団を優勝へ導けるよう常に全力でがんばってきました。暑い中での応援練習は、戸惑うこともありましたが、団員全員が文句も言わず、応援リーダーの指示を聞いて行動し、「優勝を勝ち取るぞ」という気合いを見

3

棚橋 巧

白団長



平成24年度

体育

咲かせよう
実りせ

赤団長

野上 潤也

体育祭が終わったあと、クラスで体育祭の振り返りがありました。その中で一番多かったのは「三冠はとれなかったけど、三年生最後の体育祭が思い出深いものになってよかった」というものでした。僕もみんなと同じで、かけがえのない思い出となりました。

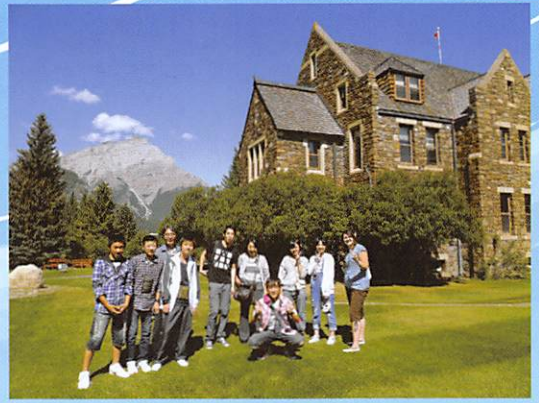
僕は、団長をやってわからないことがいっぱいあったけど、先生や同じ応援リーダーにいろいろと助けてもらいました。団席のみんなも、応援リーダーを声で支えてくれ、赤団が一つになり、応援優勝をとることができました。赤団の目標の「紅魂〜根性・突破二心〜」は、赤団全員のおかげで達成できたと思います。



せてくれました。そして戸惑いや不安をふっ飛ばしてくれました。当日は気持ちもそわい丸となって体育祭に挑みました。残念ながら優勝をつかみ取ることはできませんでしたが、僕は優勝に匹敵するぐらいの応援ができたと思っています。この体育祭は中学校生活で最高の思い出になりました。それは白団のみんなと「WIN〜迫力・全力・団結力〜」を大切にしてがんばれたからです。本当にありがとう。



カナダ研修



カナダ研修を終えて

二年一組 森島 梨緒

カナダはどのくらい大きいか知っていますか。日本の約26倍もあるのです。大きいのは国土面積だけではなく、ハンバーガーなどの食べ物、家や車など、なんでもスケールが大きな国でした。しかし、それ以上に大きかったのが、カナダの方々の心です。緊張している時、おもしろい話をして笑わせてくださったり、習った単語を並べた片言の英語でも、一生懸命話せば一生懸命理解してくださったりしました。そして、本当の家族のように接してくださいました。

受け入れてくださったカナダの皆さん、行かせてくださった輪之内町の皆さん、貴重な体験をさせていただきました、本当にありがとうございました。

カナダ研修を終えて

二年一組 小塚 健太

初めての飛行機、僕にとってカナダ研修は、とても心に残る研修になりました。カナダには、日本では見られない、壮大な風景がありました。アイスフィールド、富士山よりも高いロッキー山脈。目をみはる美しさでした。

僕のホームステイ先では、自転車で山に登り、アトラクションをしたり、きれいな湖で泳いだり、砂の中に埋めてもらったりする体験ができました。夜は友達とキャンプをしました。どれも日本では体験したことがなく、とても新鮮でした。とても貴重な数々の体験をさせていただきました、ありがとうございます。新しい第一歩を踏み出すことができました。

炬火リレーを終えて

三年三組 近藤 康平

四十七年に一度の岐阜清流国体。炬火リレーは、みんなの思いが詰まった炬火を、国体のゴールまでつなぐものです。だから、ぼく達リレー隊は、中学生らしく元気に、絶対みんなまで最後まで走り切ろうと決心していました。でも、当日は、プレッシャーで少し緊張ぎみのぼく達でした。

そんな時、「がんばれ！」と沿道からの声援をいっぱいもらい、みなさんからたくさんのパワーと勇気をもらいました。格好良い白バイの先導で、ぼく達炬火リレー隊は十人全員で、炬火をつなげることができました。

ぼくは、炬火リレーができたことを誇りに思うと同時に、うれしい気持ちでいっぱいです。



第2回 資源回収 10月13日(土)



収益金 511,681円

ご協力ありがとうございました。次回は、2月16日(土)です。

編集後記

今年も残すところあとわずかとなりました。風邪などひかないように気を付け、新年をお迎えください。

